

通 信

沖縄生物学会のさらなる活性をめざして
沖縄生物学会会長 当山昌直

このたび、大学の外に籍をおいていた私が沖縄生物学会会長を引き受けることになりました。生物学会が創立して50年余になります。学会の歴史上初めての事のように感じます。少しばかり、私と学会との関係を紹介しながら、みだしのことについて述べたいと思います。



↑ 野外調査時の会長

私は、理科教員、博物館学芸員、教育庁文化課専門員などを経て沖縄県教育委員会の沖縄県史編集事業に関わってきましたが、幸いにも沖縄の生物とは細く長く付き合い続けることができました。忙しくて、大会にも参加できないことも多々ありましたが、評議員などで学会のお手伝いをさせていただきました。そのうちに、(前)日高道雄会長が就任するとき「沖縄のフィールドに強い人」ということで、私への副会長就任依頼がありました。

一般会員、評議員などをしていいるときは、幹事の存在は知っていても、気にとめるということはありませんでした。サクサクと仕事が進んでいるように見えたからでしょうか。しかし、副会長をやって、改めて目にみえない幹事のご苦労を知ることになりました。それから、評議員と副会長として二代の会長に仕えてきましたが、会長も学会の雑用で走り回っているのにも驚きました。これまでの会長挨拶をみると、大学も多忙ときびしい研究環境の中にあるようです。それで会長がつつい自分でやってしまう、ということになるようです。大学の外にいる私からみると異様にも見えました。

一方、印刷費の高騰もあり、学会の会計も芳しくないという報告がありました。連絡の無い(とれない)会員などで会員名簿の整理が追いつけず、それも会計に響いているということでした(これらの件については、2016年の総会でも報告されています)。このように、改めて学会の状況をみて、大丈夫(このままずっとやっていくのか)、と思った次第です。サクサクとこなしているようにもみえるのですが、蓋をあげると大変だ、というのが実感です。このような中、前会長は「沖生会のこれからを考える会」とする検討委員会を設け、大学外の一般会員も招いて数回にわたって議論をしてきました。取り組まなければならない、いろいろな課題があげられました。その中に会長の件も含まれていました。

沖縄生物学会のまわりの環境も、那覇市首里に学会があったころとは大きく変化し、多様な環境、多様な人々が集まった学会となっているように思えます。このような中、学会の体制も流れを変えようという空気になったように思えます。それで、大学の外にいる私に会長がまわってきたようです。会員のみなさまには、しばらくは変化がみえない状態が続くと思いますが、私の在任中には体制をしっかりとし、学会の活性化がさらに進むようにしたいと考えています。

本稿を書くにあたって、最初は、挨拶だから無難にまとめようと思ったのですが、現在の状況を知っていただき、今後の展開にも協力してもらうためにも、あえてこのような内容を書くことになったことをどうぞ御理解下さい。

最後に、会員みなさまの学会誌への投稿、大会への参加を呼びかけ、会員の研究の進展と親睦がはかれることを祈念し、挨拶とします。

沖縄生物学会第54回大会の開催のお知らせ

沖縄生物学会の第54回大会を下記の要領で開催いたします。会場は琉球大学西原キャンパスです。一般講演、ポスター発表、懇親会を予定しています。別途、ご案内を差し上げますので、多数の会員のご参加をお待ち申し上げます。

5月20日（土）の午後に高校生によるポスター発表を計画しております。高校生の参加費は免除されますのでふるってご参加ください。

2017年 5月20日（土）8:30～ 受付開始, 9:00～ 一般講演開始 第54回大会：琉球大学

・講演申込

沖縄生物学会大会での発表を希望される方は、口頭発表かポスター発表の別を明記のうえ、講演要旨を次頁の要領でまとめ、**2017年4月7日（金）（必着）**までに下記メールアドレス宛にお送り下さい。なお、申込人数に応じて口頭発表とポスター発表の演題数を調整せざるを得ない場合も想定されるため、発表形式の変更をお願いする場合があります。**原則として電子メールでの受付**（okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp）とします（詳細は講演要旨の作成要領をご覧ください）。*申し込みまたは講演要旨受け付け後、事務局から折り返し受領確認メールを3日以内に送信しますので、必ずご確認いただけますようお願いいたします。

口頭発表は同一研究室からは**原則1題のみ**とさせていただきます。残りはポスター発表とします。発表者は原則会員に限ります。会員の皆様の日頃の研究成果を発表する場として積極的に御参加くださるようお願いいたします。口頭発表は原則として**パワーポイント（pptxもしくはpptファイル）によるデジタルプロジェクター使用での発表**とします。ソフト等の不適合が起こることが懸念されますので、原則として御自身のパソコンをご持参下さい。準備委員会の方でOSがWin7かMacintosh OSXのノートパソコンを準備いたしますが、それ以外の設備を必要とする方は、予めお問い合わせ下さい。一般講演の講演時間は、質疑を含め**15分（講演12分、質疑3分）**です。*ポスターパネルの大きさは約160cm（縦）×90cm（横）です。この範囲に収まるように各自ご自由にポスターの大きさを設定ください。

・講演要旨の作成要領と原稿送付方法

発表要旨原稿はEメールによる添付書類（MS-WORD）で受け付けることと致します（宛先okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp）。メールの件名を「発表申込 発表者氏名」として下さい。フォントはMS明朝体11ポイントとし、英文の場合はTimes New Romanとします。演題、演者、本文を含めて800文字以内とします。文字数のカウント法についてですが、ワードの通常の画面下に出ている文字数には半角英数字は単語一つが1文字としてカウントされてしまいますので、校閲タブの文字数カウント機能のほうでご確認ください。図表は講演要旨の中では用いないように配慮して下さい。

◆2017年4月下旬発行予定の沖縄生物学会通信第100号にプログラムを掲載するため、発表の申し込みについては締め切り厳守をお願いいたします。

・懇親会申込

発表の有無に関わらず、懇親会に参加される方は2017年4月7日（金）までに準備委員会宛にメールでお申し込み下さい。懇親会への参加申し込みは大会当日にも受け付けますが、その場合、参加費は当日料金となりますのでご注意ください。懇親会費は事前申し込み2,000円、当日申し込み3,000円（学生は両方1,000円）の予定です。

<問合せ先>

沖縄生物学会第54回大会準備委員会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系事務室内

TEL (098) 895-8577 FAX (098) 985-8576、 E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

◆シンポジウム

評議会報告にもある通り、次回大会では公開シンポジウムを実施しない予定です。再来年度以降についての公開シンポジウム開催、大会の運営については次回大会でのアンケート実施により、学会員の意見を募りつつ検討していきます。

沖縄生物学会53回大会・総会報告

沖縄生物学会第53回大会が平成28年5月28日(土)に琉球大学 理系複合棟1階を中心に開催されました。一般講演14件、ポスター講演32件が行われ、大会参加者は一般89名、学生26名、引率教諭および保護者9名、高校生26名、小学生1名の計151名でした。公開シンポジウム「アクティブラーニングの視点で沖縄における海の生物・環境教育の深化を考える」には52名が参加し、松浦克美氏(首都大学東京)藤田喜久氏(県立芸術大学)、山本広美氏(沖縄美ら島財団総合研究センター)による講演とパネルディスカッションが行われました。

総会では、中村 崇庶務幹事の司会のもと、当山昌直副会長の開会挨拶、日高道雄会長の挨拶の後、議長団として水山 克会員、中野 義勝会員が選出され、議事が進行されました。

報告事項としては、中村 崇庶務幹事による、2015年度事業報告(53回大会の開催、通信97~98号の発行)が行われ、ついで成瀬 貫編集幹事より、会誌54号の発刊について編集報告がなされました。傳田哲郎会計幹事による2015年度決算報告、水野 拓監査員による監査報告がなされた後、当山昌直 池原貞雄記念賞選考委員長より、第7回池原貞雄記念賞の選考経過が報告されました。

審議事項としては、中村 崇庶務幹事より、2016年度事業計画(会誌55号発行、通信99、100号発行、第54回大会を琉球大学西原キャンパスで開催すること)が提案され承認され、次いで傳田哲郎会計幹事より2016年度予算案が提案され、承認されました。また中村 崇庶務幹事より、次期会長・副会長(2016年度-2017年度)の選出について提案がなされ承認されました。評議員・各種委員長については、新会長を中心に検討することで承認されました。

その他、山崎仁也 理科教育連携WG代表より、会員サービス向上の一環として、生物画像データベース構築に関する提案とともにデモンストレーション、必要予算についての説明がなされ、構築に向けた方針が承認されました。また、会員名簿の整理について、今後郵送等での確認を行っていく方針について傳田哲郎会計幹事から提案され、承認されました。

議長団解任の後、当山昌直副会長の閉会挨拶により総会を終了しました。

平成28年沖縄生物学会第1回評議員会報告

沖縄生物学会評議会が2016年11月7日（月）午後6時より、琉球大学理学部528教室において開催されました。参加者は18名、委任は8名でした。

出席者：当山昌直（会長）、千木良芳範（副会長）、知花史尚、德里政哉、大城直輝、藤田喜久、照屋建太、長井隆、城間恒宏、岡慎一郎（評議員）、伊澤雅子（代表幹事）、中村 崇、山川彩子、戸田守、富永 篤、中西希（庶務幹事）、傅田哲郎、玉城歩（会計幹事）、守田昌哉（編集幹事）、委任状8名：盛口 満、山崎 仁也、齊藤 由紀子（監査員）、平敷 りか、大隅 大、水野 拓、新垣裕治（評議員）、成瀬 貫（編集幹事）

[審議事項]

1. 沖縄生物学会幹事会の会務手引について

幹事会により新たに明文化された「会務手引」と、それに従って検討された代表幹事をおく新体制、各幹事役割分担の案について承認されました。

2. 第54回大会の準備状況について

日程は2017年5月20日（土）、場所は琉球大学西原キャンパスであることが報告され、承認されました。また、次回大会では一般発表の充実を図るため、公開シンポジウムを行わないことで承認されました。再来年度以降についての公開シンポジウム開催、大会の運営については次回大会でのアンケート実施により、学会員の意見を募りつつ検討していくことになりました。

3. 未納会員対応について

学会会員の名簿の整理と長年会費を納めていない会員の退会手続きを進め、学会誌の印刷や発送にかかる経費の節減を進める方針であることが報告されました。また、滞納者の退会手続き簡素化のため、会則改正の準備を進めることが提案され、承認されました。

4. 学会誌のデジタル化について

会誌のバックナンバーのデジタル化などの方策について、近年の発行のものについては公開の準備が進められているが、著作権の問題や、過去のより古い年代の会誌のデジタル化をどのように進めていくか審議されました。一方で、国会図書館でも納本済み学会誌等のデジタル化・公開を検討しているという情報があり、それとの兼ね合いを今後も審議していくことになりました。

[報告事項]

今後の学会大会運営のもち方について、各大学とも負担が大きくなりつつあることから、これまでの3大学だけでなく、その他の機関にも大会の開催を引き受けてもらえないか検討していることが報告されました。これについては、引き受け機関に所属する会員が少ない場合など、機関外の会員からの補助の方法についても審議されました。これを受けて、今後、幹事会でその対応策などについて議論を重ね、そのうえで評議会の審議事項として今後検討していくことになりました。

第8回 沖縄生物学会池原貞雄記念賞候補者の募集

第8回沖縄生物学会池原貞雄記念賞の候補者を募集します。規約にあるとおり、本賞は沖縄の生物の研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、および将来の成果が期待される若手会員に対して贈られるものです。会員の皆様からの積極的な他薦または自薦をお願いします。参考までに、池原貞雄記念賞表彰規約は次ページに記載しています。

受賞者の決定は選考委員会で行われ、沖縄生物学会大会開催時に授賞式を行います。

池原貞雄記念賞候補者推薦要領

1 推薦方法

別紙様式の表彰候補者推薦書(様式1)、推薦理由書(様式2)、履歴書(様式3、個人推薦の場合のみ)、団体の概要(様式4、団体推薦の場合のみ)各2部を添えて、沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局あて郵送にて提出する。

2 推薦人員

(1) 各会員が推薦できる人数は、一部門の1名または1団体とする。

3 候補者の例示

(1) 表彰規約の若手とは、おおむね45歳以下をいう。

(2) 表彰規約の長年とはおおむね10年以上とする。

(3) 表彰規約3の2の(1)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の生物に関する論文、講演などの実績があるもの。

(4) 表彰規約3の2の(2)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の生物・環境に関する教育・普及啓発活動に実績があるもの。

(5) 表彰規約3の2の(3)でいう表彰の対象者とは、例えば以下に該当するものをいう。

ア) 沖縄の自然環境の保全に関する活動実績(書籍、事業、イベントなど)があるもの。

4 候補の対象としない者

(1) 過去に当記念賞を受賞した者。

5 応募方法

(1) 沖縄生物学会通信および学会ウェブサイトにて公募する。様式はウェブサイトからダウンロードできる。

(2) 表彰規約3の2の(1)でいう研究部門については、代表的な論文5編以内(コピー可)を添付すること。

(3) **応募締切は2017年1月末日(当日消印有効)**とする。

(4) 応募書類の送付先

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科内
沖縄生物学会池原貞雄記念賞事務局 宛

6 留意事項

受賞者には沖縄生物学会大会授賞式で自らの研究または活動の概要を含めた挨拶をしていただきます。

問い合わせ

本件に関する問い合わせは、学会事務局へメールにてお願いします。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1 琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

Tel: 098-895-8577、 Fax: 098-895-8576 E-mail: okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

池原貞雄記念賞表彰規約

2009年11月17日制定

2014年11月17日改訂

1 趣旨

沖縄生物学会(以下、学会)の発展と沖縄の野生生物の基礎研究と保全、人材育成に多大な貢献をされた故池原貞雄初代会長を記念して、沖縄の生物研究・教育・環境保護の各分野で活躍している会員または団体、あるいは将来の成果が期待される若手会員に対して、その功績をたたえが表彰する。

2 表彰の時期

毎年の学会大会の日に授賞式を行う。

3 表彰者の範囲

1) 表彰者は原則として、個人の場合は学会会員(授賞式の時点で会員歴が1年以上)であること、団体の場合は会員3名以上が推薦する団体であること。

2) 表彰の対象は、次の各号に一に該当する個人または団体とする。

(1) 研究奨励部門 沖縄の自然もしくはその保護に関し顕著な貢献が期待される研究を行った若手研究者。

(2) 教育功労部門 長年にわたり沖縄の自然もしくはその保護に関する教育実践、普及等に従事し、顕著な功績のあった個人または団体。

(3) 環境保護部門 長年にわたり沖縄の自然環境保護に関する活動を継続し、顕著な功績のあった個人または団体。

4 表彰者の人数

原則として各部門それぞれ1名または1団体とする。

5 表彰者の推薦

表彰者の推薦は、別に定める池原貞雄記念賞候補者推薦要領により、学会会員の自薦または他薦とする。

6 表彰者の決定

表彰者の決定は、上記3の2)の候補者から池原貞雄記念賞選考委員会(以下、選考委員会)が行い、学会評議員会の議決を経て決定する。

7 選考委員会

1) 選考委員会委員(以下、選考委員)は、学会副会長1人、ならびに評議員会により選出された若干名とする。

2) 選考委員の任期は2カ年とし再任を妨げない。

3) 選考委員会は学会会長が招集し、選考委員長が会議を進める。

4) 選考委員長は委員の互選による。

5) 選考委員長が会議に参加することができないときは、選考委員長があらかじめ指名した委員が会議を進行する。

6) 選考委員に欠員が生じた場合には、新たな選考委員を選出する。その際選出された後任の任期は前任の残任期間とする。

7) 選考委員会は、必要に応じて第三者の意見を求めるなどして、審査の公平を期するものとする。

8 表彰の方法

学会会長から表彰状と副賞(記念品)を授与する。

9 事務局

本記念賞の事務局は、沖縄県中頭郡西原町千原1番地、琉球大学理学部海洋自然科学科内の学会事務局内に置く。

沖縄生物学会役員一覧表

沖縄生物学会の会長、副会長、監査員および評議員が下記のように選出され、前回の総会で承認されました。任期は2年間で、2018年5月の総会までです。

会長 当山 昌直(沖縄大学地域研究所)
副会長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)、宮里 幸利(沖縄生物教育研究会)

監査員 盛口 満(沖縄大学)
齋藤 由紀子(琉球大学)
山崎 仁也(県立博物館・美術館)

評議員

大学関係 新垣 裕治(名桜大学) 照屋 建太(沖縄キリスト教学院大)
藤田 喜久(県立芸大)
研究機関 岡 慎一郎(沖縄美ら島財団)
長井 隆(沖縄県環境科学センター) 水野 拓((株)イーエーシー)
行政機関 城間 恒宏(沖縄県教育庁) 德里 政哉(沖縄県自然保護課)
高校関係 大城 直輝(那覇西高校) 知花 史尚(中部商業高校)
大隅 大(名護高校)
中学校関係 平敷 りか(中城中学校)

池原貞雄記念賞選考委員会委員長 千木良 芳範(宜野湾市立博物館)
池原貞雄記念出版委員会委員長 横田昌嗣(琉球大学)
自然史博物館設立要請委員会委員長 戸田 守(琉球大学)

庶務幹事 伊澤雅子(代表幹事:琉球大学) 中村 崇(琉球大学)
富永 篤(琉球大学) 戸田 守(琉球大学)
中西 希(琉球大学) 山川(矢敷)彩子(沖縄国際大学)
会計幹事 傳田哲郎(琉球大学) 玉城 歩(琉球大学)
編集幹事 成瀬 貫(琉球大学) 守田 昌哉(琉球大学)
編集委員 久保田 康裕(琉球大学) 太田 英利(兵庫県立大学)
大瀧丈二(琉球大学) 今井秀行(琉球大学)

会員の方々からも沖縄生物学会への思い、ご意見、活動、紹介したい内容などがございましたら、事務局にお知らせいただくか、学会のホームページにお寄せ下さい。電子メールは、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp です。

----- ■

沖縄県生物学会賛助会員

本学会にご協力いただいている賛助会員は下記の通りです。

株式会社 猪原商会沖縄営業所 所長 小林宏行
〒900-0033 那覇市久米1丁目7番10号 (098)868-6373

株式会社 森山商事 代表取締役 森山紹政
〒902-0064 那覇市寄宮2丁目29番22号 (098)835-4056

株式会社 イーエーシー 代表取締役 大石哲也
〒901-2127 浦添市屋富祖3丁目34番17号 (098)942-0085

原稿募集のお知らせ

これまで沖縄生物学会誌では、12月末に「締め切り日」を設け、この日までに投稿された原稿を全て掲載してきました。しかし、一部論文では審査が長引き、その結果、出版が本来の3月末から大幅に遅れ、9月や10月に発行されていました。そこで、第45号より締め切り日を廃止し、期日までに投稿されたものでなく、印刷業者への入稿日までに審査の終わったものを掲載するように変更しました。

1回の審査には、早くも2週間、通常は2ヶ月程度要しています。編集委員会での承認や校正作業、さらには年度末の印刷業者の混み具合、査読者への負担等を考えると、年明けに審査の終了していない論文は掲載が非常に難しくなります。

つきましては、諸事情をご理解の上、何卒お早めのご投稿をお願いします。投稿に際しては、第45号より投稿規定が大幅に変更されていますので、ご注意ください。どうぞよろしくお願いいたします。

なお、e-mailによる原稿に関するお問い合わせは、編集幹事の成瀬貫 (naruse@lab.u-ryukyu.ac.jp)までお寄せ下さい。

原稿送付先: 〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

沖縄生物学会編集委員会

沖縄生物学会

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系内

生物系事務室 TEL:(098)895-8577

庶務 中村 崇 (098)895-8897

FAX:(098)895-8576、okibio@w3.u-ryukyu.ac.jp

振替口座 郵便:02030-8-30433 沖縄生物学会

銀行:琉球銀行宜野湾支店 普通051-065沖縄生物学会